

「平成30年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第1回）」
議事概要

I 日 時

平成30年6月25日（月）10:00～11:40

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1） 審議事項案件

- ① 平成30年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成30年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
- ③ 平成29年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 平成30年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

（2） その他

V 議事内容

- (1) ① 平成30年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成30年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
- II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 1者応札の回避策として、説明会参加者の増加に向けた具体策の検討、調達業者の繁忙期を回避（前倒し）するとともに、入札回避理由の解明に一層取り組むこと。</p> <p>② 業務習熟及びコスト削減の観点から複数年契約の是非についても検討すること。</p> <p>③ 見積書の誤認識に関して、業者から見積額総計を別添で求める等により実効性のある再発防止策を講じること。</p> <p>④ 独占的な販売が認められながら、専売証明書の提出に応じない場合、その理由を究明するとともに、調達対象企業間での競争措置が図られるような働きかけを行うこと。</p> <p>⑤ 評価基準表の「WLB等の推進に関する指標」については、対象が限定的（女性・若年層）であることから、他の指標の存否も含め、随時見直しを行うこと。</p> <p>⑥ 総括表の記載については、前回の調達と今回の調達の単純比較が可能となるよう、見易く分かりやすい記載を心掛けるとともに、記載方法は統一すること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいります。</p>

- ③ 平成29年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 平成30年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画(案)について

標記について、昨年度の調達等合理化計画の自己評価の報告と今年度の調達等合理化計画案の審議が行われ、それぞれについて了承された。

(2) その他

平成30年7月～9月調達予定案件一覧表(最低価格落札方式)についての報告が行われた。

以上